

2024年10月15日

相鉄グランドフレッサ東京ベイ有明における給水管の誤接続につきまして

株式会社相鉄ホテルマネジメント

この度、当社が運営する相鉄グランドフレッサ東京ベイ有明（以下「GF有明」と称します。）におきまして、一部のコインランドリー機、手洗い器および製氷機に、本来上水給水管を接続すべきところ、誤って再生水の給水管を接続していること（以下「本件」といいます。）が判明いたしました。このような事案を生じさせたことを深く反省するとともに、お客様をはじめ、関係の皆様にご多大なご心配、ご迷惑をおかけいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。

本件の概要は、下記のとおりです。

記

1. 事案の内容

GF有明20階に設置しているコインランドリー機2台、手洗い器1台、および製氷機1台につきまして、誤って再生水（※）の給水管が接続されていた結果、本来、上水が供給されるべきところ、再生水が供給されておりました。

なお、他のフロアにおきましては、同様の誤接続は発生しておりません。

※ 再生水とは、通常の下水処理に加え、濾過処理やオゾン処理などさらに高度な処理を行って、東京都の水再生センターによって造られているもので、東京都より供給を受けております。再生水といえども、残留塩素が保持され、大腸菌が検出されないなどの水準を満たしており、GF有明においては、更に次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を行っております。ただし、20階については、本件お知らせのとおり、当該再生水が、コインランドリー等に誤って供給されていることが発覚いたしました。

2. 誤接続に至った経緯

2018年11月にGF有明20階にコインランドリー機および併設する手洗い器（以下「20階コインランドリー等」といいます。）を設置するに際し、コインランドリー会社およびその再委託先の給水管の施工会社が、再生水給水管を上水給水管と誤信して20階コインランドリー等に接続いたしました。

その後、2022年5月に当該コインランドリー機に隣接する場所に新たに製氷機を設置する際、当該コインランドリー機に既に2018年に接続していた再生水給水管から当該製氷機に分岐を行ったために、当該製氷機にも再生水が供給されるに至りました。

今般、2024年9月27日に、同フロアのトイレ修理工事を行うにあたり、給水管を確認したところ誤接続が発覚したものです。

上記原因等の詳細につきましては、コインランドリー業務の委託先および給水管の施工業者と事実関係を確認中です。

3. 本件判明後の対応について

9月27日の本件発覚後、当社は、直ちに当該コインランドリー機、手洗い器および製氷機の使用を停止するとともに、江東区保健所に概要のご報告を行い、ご指導を仰いでおります。並行して、同保健所のご指導に従い、専門機関を通じて当該再生水の水質検査、製氷機で生成された氷の成分検査を行っております。現時点で判明しているところでは、ビル管理法に定められている16の水質検査項目のうち、15項目については基準を満たしておりましたが、一般細菌について、基準値が100個/ml以下のところ130個/mlとなっておりました。

※ 一般細菌は、水質状況の一般的な指標として用いられる水質基準の一つであり、「一般細菌とは、標準寒天培地を用いて $36\pm 1^{\circ}\text{C}$ で 24 ± 2 時間培養したとき、培地に集落を形成する細菌のことをいう。分類学的に特定のグループを意味するものではない。一般細菌として検出される細菌の多くは病原菌ではないが、汚染された水ほど多く検出される」ものとされています（公益社団法人 日本水道協会「水道統計（水質編）における調査対象項目の解説」より抜粋）。

今後、調査等が進展し詳細が判明し次第、すみやかにご報告させていただきます。

今までのところ、本件に関連したなんらかの問題が生じた等のお申し出は承っておりますが、保健所ほか関係各位のご指導を受けながら、適切に対応していく所存です。

お客様、関係者の皆様には、ご心配、ご迷惑をおかけしますこと、重ねて深くお詫び申し上げます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社相鉄ホテルマネジメント

企画部（担当：紀・廣瀬）

メールアドレス：shm_hq11@sotetsu-group.jp

TEL：045-319-2631

（受付時間：平日9時30分～17時）